

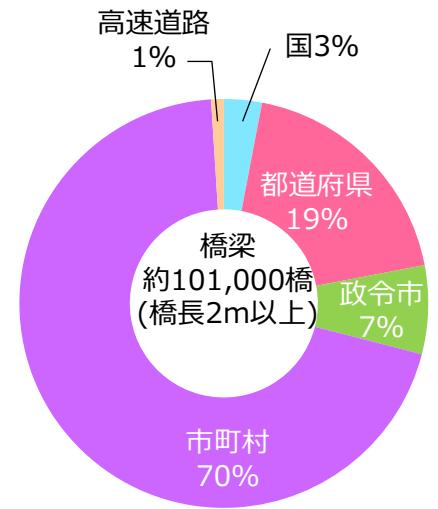


# 道路メンテナンス総力戦

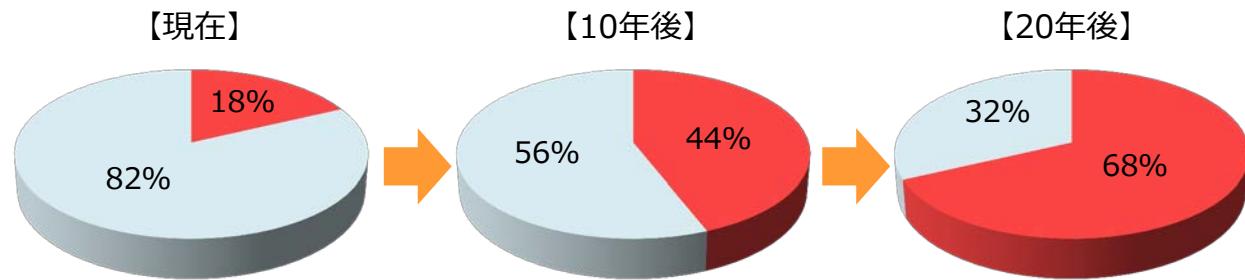
## ～ 道路メンテナンスの取り組み ～

### ■道路構造物の高齢化が進行

- 九州管内の橋長 2 m以上の橋梁は約 10万橋
- そのうち、約 7割を市町村が管理
- 高度経済成長期に、集中的に建設された橋梁などの道路構造物は、今後急速に高齢化し、建設後 50年経過する橋梁が 10年後には4割以上、20年後には約7割になる見通し



■道路種別別の橋梁数 (割合)

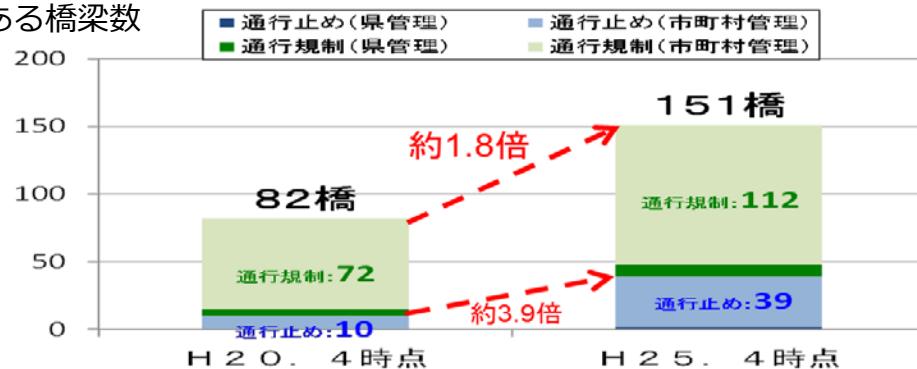


■建設後 50年以上経過の橋梁の割合

- 平成 25年 4月時点の、通行止めや重量制限などの通行規制されている橋梁（橋長15m以上）は、九州管内で 151箇所（全国で約 2,000箇所）



### ■通行規制がある橋梁数



注・通行規制等は、老朽化による損傷や旧設計条件の使用等による重量制限や通行止め  
 ※出典：国土交通省九州地方整備局調べ

### ■最後の警告-今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ

- 社会資本整備審議会道路分科会の家田会長より太田国土交通大臣へ「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」を手交 (H26.4.14)



### ■5年に1回、近接目視により点検

- 法令改正により、国・県・市町村道を含め5年に1回の頻度で近接目視による点検を規定。(H26.7.1施行)

### ■道路メンテナンス会議の発足



### ■メンテナンス技術者育成研修の実施

- 直轄職員及地方自治体職員を対象に、点検・診断技術の向上を図るため、メンテナンス研修を開催

